

# 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (都市と農山漁村の教育交流事業)

マタギ発祥の地・北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー

マタギ発祥の地・北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー実行委員会

## 【事業のポイント】

- 自然や農山村での体験が有する教育的効果をねらう。
- 北秋田市が発祥の地といわれている「マタギ文化」を中心とした食体験と生活体験をプログラムに組み込む。
- 地元小学生との交流や学校紹介をとおして、お互いのふるさとの良さを分かち合う。



2日目：初めての“カンジキ”体験

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

北秋田市が近年力を入れている「滞在型の観光地づくり」に向けて、自然や農山村での体験が有する教育的効果に着目した「子ども交流事業」を計画した。  
特に、雪国ならではの体験として、マタギの発祥の地と言われる北秋田の自然を活かした子どもも大人も楽しめる“マタギ体験野外プログラム”を企画したことが大きな特徴である。  
また、マタギの食体験をとおして、田舎で「命をいただく」ことの意味を考えるプロセスを組み入れながら、地域住民とのふれあいを大切にしたい。

### (2) ねらい

- 「マタギ文化」をとおし、自然との共生や先人の知恵を学びながら、子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育む。
- 力強い子どもの成長を支える体験活動として、小学生を対象とした農山村での宿泊体験活動を展開する。
- 北秋田市阿仁・森吉地区をフィールドに、体験による成長、新たな発見、世代を超えて交流する楽しみ、子どもの活動をサポートする楽しさ等、子どもも大人も楽しめる充実した体験と学びの機会をつくる。
- ふるさとの良さを知り、地域の方々に感謝する心を育てる。

## 2. 実施概要

### (1) 実施主体

地域の民宿組合や猟友会を中心に、次年度以降も地域の教育資源を活用した持続的な取り組みを推進するため、日常的な情報交換や情報の共有ができるよう図りながら、協力体制を整えて行った。  
○森吉四季美湖を守る宿の会 ○阿仁猟友会 ○森吉猟友会 ○森吉山コミュニティFM開局準備会  
○前田小学校 ○前田小学校支援地域コーディネーター ○北秋田地域振興課 ○北秋田市商工観光課  
○北秋田市教育委員会生涯学習課

### (2) 開催実績

月 日	内 容
6月26日	事業日程の調整及び運営体制の検討
7月15日	企画運営委員の策定及び決定、打合せ会、各種調整
8月3日	第1回企画運営委員会～マタギの地恵体験継承ツアープラットフォーム委員会
8月28日	第1回実行委員会
9月5日	現地事前確認～実行委員会(加賀・鈴木・佐藤)
9月15日	第2回企画運営委員会～マタギの地恵体験継承ツアープラットフォーム委員会
11月～12月	参加者募集
12月14日	スタッフ事前打合せ
12月17日	第2回実行委員会

12月30日	スタッフ事前打合せ
1月4日～8日	事前準備作業・最終確認作業
1月8日	現地事前確認～実行委員会(加賀・鈴木)
1月9日～1月11日	マタギの発祥の地・北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー
2月25日	第3回企画運営委員会～マタギの地恵体験継承ツアープラットフォーム委員会
<b>(3) 推進月間の設定</b>	
特になし	
<b>(4) 事例の収集と発信</b>	
秋田県北秋田地域振興局との打合せ等により、他の交流事業の情報の交換を行った。また、情報の発信についても、県地域振興局や実行委員会のメンバーにより実施した。ツアー当日は、テレビ局の取材を受けたほか、市の広報担当者による密着取材を受けるなど、注目度が高かった。	
<b>(5) 意見交換の場の設定</b>	
主として、プラットフォーム企画運営委員会や実行委員会において行った。	
<b>(6) 新たな青少年体験活動の推進方策の検討と試行</b>	
次回の実施に向けて、このツアーのPR方法や募集方法を改めて検討したい。また、開催時期、募集人数、地元の小学校との連携、受け入れ体制、スタッフの確保、プラットフォーム組織づくり等について協議を進めたい。	

### 3. 成果と課題

#### (1) 事業成果

雪国ならではの北秋田の魅力をマタギ文化や地元住民とのふれあいの中で、県外からの参加者のみならず、地元の小学生にとっても大きな成果があった。教育の現場においても大変貴重な体験活動であり、参加者同士の友情を深めながらふるさと体験を進めることができたことが、ふるさと教育の推進のうえで大きな意義があった。力強い人間力を持つべく子どもの成長を支えるための農山村体験プログラムとしての有効性と実効性が実証された。特に、多様な世代、セクターの人が参加し関わったことにより、地域をフィールドにして活動するための場の形成がなされたことが、次回へつなげる基盤となった。

#### (2) 事業運営上の課題

- 当初は、学校対学校の交流を予定していたが、実現できなかった。
- 委託事業費のなかに、食費や交通費免除部分がないので、都会から参加する場合の自己負担額がかさむことにより、参加者の募集が難しい面もある。
- 開催日を決定する際には、県外の情報収集による早めの日程調整が必要である。

#### (3) 事業成果の普及啓発の課題

- 取り組みの成果を発信することにより、さらに都会に北秋田の良さをアピールして行くにはどのような手立てが必要か。
- 3年後を見通し、持続可能な活動にするための自己財源の確保の施策を図る。
- 県や他部署との情報の共有や協働による開催となるような仕組みづくりを構築する。

### 4. 団体プロフィール

○マタギ発祥の地北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー実行委員会  
 ※事務局: 北秋田市教育委員会生涯学習課  
 〒018-3312 秋田県北秋田市花園町15-1  
 (電話0186-62-1130 FAX0186-62-1669)